



市報

平成18年  No.455

1月



笠間幼稚園で、メリークリスマス！

◎主な内容

- ☆新春を迎え…………… P 2
- ☆健康づくりで上手な受診を！…………… P 3
- ☆市県民税の申告はお早めに！…………… P 4
- ☆男女共同参画推進フォーラム…………… P 6
- ☆わだいろいろ…………… P 8
- ☆笠間シティマラソン…………… P18
- ☆生涯学習だより…………… P19

12月14日と15日の二日間
笠間幼稚園で、X'mas 発表会が開かれました

練習してきた踊りを披露する園児たち
歌や劇でそれに応えるお母さん方

そしてご褒美はクリスマスプレゼント
遠い国からやってきたというサンタさんが
園児一人ひとりに手渡しました

新春を迎え



市長 磯 良史

新年明けましておめでとうございます。新春を迎え、心からお喜び申し上げます。昨年、笠間市においては、重要施策の公共処分場「エコフロンティアかさま」が開業したほか、「かさまをよくなる市民会議」の再編に伴う効果的な市民運動が展開されました。さて、本年も、国の三位一体改革に基づき補助金の削減や交付税の減額などが継続して



市議会議長 渡辺 浩一

新年明けましておめでとうございます。平成18年の新春をお健やかに迎えられたことと、心からお喜び申し上げます。市民の皆様には、日ごろから議会運営に対し、ご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。ご承知のとおり、現在の社会経済情勢は、情報通信技術の進展、価値観やライフスタイル

実施され、市民サービスを維持するため、より効率的な自治体運営が求められております。このような中、市町村合併につきましましては、市民の皆様のご意見をいただき、延べ9回の合併協議会を開催し、新たなまちづくり「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間市」に向けての事務調整方針や新市の市章、組織機構などを決定し、3月19日の新笠間市の誕生に向けて、更なる協議を進めております。今後は、新笠間市による効果的・効率的な行政サービスに向け、福祉の向上、健全な行政運営、行政改革の推進、適正規模に見合った事務事業の展開等を基本に、環境や福祉施策、生涯学習の推進、商業・農業・観光の振興に取り組む所存でありますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。市民の皆様のご健康とご多幸を祈念しまして、年頭のごあいさついたします。

ルの多様化、少子高齢化の進行など大きく変化しており、誠に厳しいものがあります。そのような状況の中、笠間市は、友部町・岩間町と合併をし、今年3月19日、人口約8万2千人の新笠間市が誕生いたします。今後も、笠間市の発展と福祉の向上を基本に市政が展開されることと存じます。そして、北関東自動車道の建設が着々と進み、笠間市の将来にも大きな発展が期待されております。私も議決機関といたしましては、より豊かな住みよいまちづくりを目指して、今後更には執行部と一丸となって、市民の皆様のご期待に応えられるよう、決意を新たに頑張りたいと思っております。どうか、本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、市民の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。年頭のあいさついたします。

何となく
今年はいい事あることし
元日の朝晴れて風無し

石川啄木

健康づくりで上手な受診を！

老人
保健

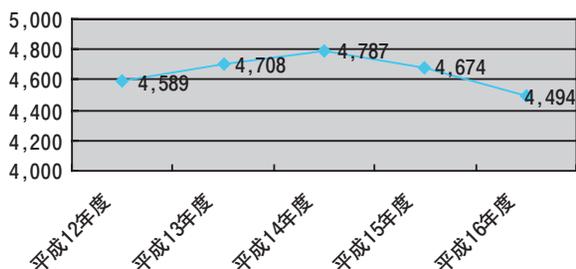
問合せ先：総合窓口課保険G TEL内線114～116
保健センター TEL72-7711

◆老人保健医療費の現状

老人保健制度は、本格的な高齢化社会の到来に対応し、疾病の予防、総合的な保健事業を実現するとともに、老人医療費を国民みんなで公平に負担することを目的としています。

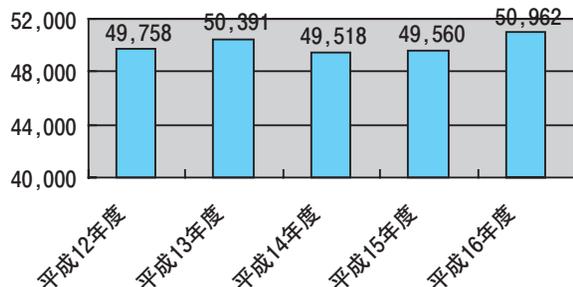
我が国では高齢化が進み、老人医療費は年々増加しています。笠間市の老人医療費は、平成16年度で約27億4千800万円。一人当たり年間約6万1千1百円で、1か月間に約5万1千円掛かっています。笠間市の老人保健の動向を知っていただき、医療費の適正化にご協力をお願いします。

老人保健該当者数の推移（月平均人数）



※笠間市の老人保健該当者数は、前年度に比べ4パーセント減少しています。人口に対する老人保健該当者数の割合は15パーセント。6.7人に一人は老人となります。

一人当たりの平均医療月額（円）



※平成16年度は、前年度に比べ2.8パーセントも増加しています。生活習慣病を予防するとともに、基本的な健康づくりを心掛けましょう。

◆上手なお医者さんへのかかり方



①お医者さんの掛け持ち受診はやめましょう。



②時間外、休日受診はなるべく避けましょう。



③薬をたくさん欲しがるのはやめましょう。



④家庭医を持ちましょう。



⑤お医者さんを信頼し、指示を守りましょう。



⑥健康診断を受け、病気の早期発見、早期治療を心掛けましょう。

◆健康こそ、最大の医療費節約

老人医療費は、若い人の医療費に比べ、5倍程度高い水準にあります。この最も大きな原因は、心身の機能が低下するため、病気やけがが増えて受診率が高くなることです。受診率を下げるには、基本的な健康づくりを心掛け、生活習慣病の発生を予防するとともに、上手な受診が大切です。医療費の増加は、保険税の値上げや医療機関・福祉施設の不足を招き、結局は、私たち自身に跳ね返ってきます。病気の予防や健康づくりに積極的に取り組みましょう。

市県民税の申告はお早めに!

《受付は、2月16日から3月15日まで》

●申告の取りまとめ期間

- ☆2月16日(水)～28日(火) /
▽市役所1階税務課
 - ▽午前8時30分～午後4時
 - ☆3月1日(水)～15日(水)
 - ▽市役所2階会議室
 - ▽午前8時30分～午後4時
 - ☆2月16日(水)～24日(金) /
▽出張申告(各地区公民館)
 - ▽午前9時30分～午後3時
- ※詳しくは、5ページの表をご覧ください。

●申告しなければならぬ方

平成18年1月1日現在、笠間市に住所があり、平成17年中に、営業、農業、不動産、譲渡などの所得のある方です。給与所得者は通常、申告する必要はありませんが、給与のほかに、年金、家賃、農業等の所得がある方や、事業主が「給与支払報告書」を市に提出していない方は、源泉徴収票や給与明細書等を持参の

上、本人が申告してください。

申告をしないと、医療費や保険料等の所得控除、住宅借入金等特別控除などの税額控除が受けられなくなります。

《控除を受ける場合》

☆領収書や証明書が必要です。問合せ先▼市役所税務課賦課課 G ☎内線105～107

所得 税

●所得税確定申告の受付期間

☆2月16日(水)～3月15日(水) 《納税期限も3月15日》

●申告は、正しくお早めに

申告期限間近になると、税



務署や市の申告会場が大変混み合いますので、早めに申告をお済ませください。

期限内に申告しなかったり、誤った申告をしたりすると、後で、不足の税金や加算金、延滞金等を納めなければならなくなり、正しい申告をしてください。

●納税は期限内に

納税期限を過ぎると、延滞金が掛かりますので、期限内に税金を完納してください。

また、納税の期限(3月15日)から約1か月後に、納税者が指定した口座から自動的に納付される、便利な「振替納税制度」をご利用ください。



贈 与 税

●申告・納税の受付期間

☆2月1日(水)～3月15日(水)
贈与税は、個人から贈与を受けた現金、土地家屋、事業(農業)用財産、書画・骨董等の合計が、一年間に110万円を超えた部分に掛かります。問合せ先▼水戸税務署資産課 税部門 ☎029(231) 4211



所得税の還付申告説明会

税務署では、給与収入先が1か所(年末調整済みの方)で、住宅ローンを利用して住宅を取得又は増改築を行った方を対象に、所得税還付の説明会と申告の受付を行います。期日▼2月3日(金) 受付▼午前9時30分～10時 会場▼市役所2階会議室

持参するもの /
①平成17年分源泉徴収票(コピー不可)

②印鑑、筆記用具、計算用具
③還付金を受け取る場合の金融機関名、口座番号(申告者名義)の分かるもの
④源泉徴収票の住所が現在地と異なる場合は、住民票の写し

《新築・中古住宅の場合》

前記①～④のほかに、
⑤住民票の写し
⑥家屋の登記簿謄(抄) 本又は、登記事項証明書
⑦請負契約書又は、売買契約書の写し

⑧住宅取得資金に係る借入金の年末残高等証明書
※家屋とともに、敷地を借入金で取得した場合には、
⑨敷地等の登記簿謄(抄) 本又は、登記事項証明書

⑩敷地等の分譲に係る契約書等で、その敷地等の取得価格・取得年月日などを明らかにする書類の写し
《増改築等の場合》

前記⑤～⑧のほかに、
⑨建築確認通知書の写し、検査済証の写し又は、建築士から交付を受けた増改築等工事証明書

問合せ先▼水戸税務署個人課 税部門 ☎029(231) 4211

●市役所申告受付会場

今年、税制改正や農業申告の関係により、待ち時間が増えることが予想されますので、市役所での申告に当たっては、地域ごとに期日を指定させていただきます。ご協力をお願いします。

受付日	曜日	指定地域	受付会場	受付時間
2月16日	木	箱田	市役所1階 税務課	午前8時30分～午後4時
2月17日	金	日沢・石寺・金井・大淵		
2月19日	日	申告を行いません（指定地域なし）		
2月20日	月	石井・赤坂		
2月21日	火	石井・赤坂		
2月22日	水	下市毛		
2月23日	木	下市毛		
2月24日	金	寺崎・片庭・大郷戸		
2月27日	月	稲田・飯合・手越・北吉原・南吉原		
2月28日	火	福原		
3月1日	水	大橋・池野辺・福田・飯田	市役所2階 会議室	
3月2日	木	本戸・上加賀田・来栖		
3月3日	金	笠間・日草場		
3月6日	月	笠間		
3月7日	火	笠間		
3月8日	水	笠間		
3月9日	木	指定地域なし		
3月10日	金	指定地域なし		
3月13日	月	指定地域なし		
3月14日	火	指定地域なし		
3月15日	水	指定地域なし		

※指定の期日においていただけない方は、「指定地域なし」の日をご利用ください。

●出張申告受付会場

今年から、片庭中組集会所・高田公民館での申告は行われませんので、両地域の方は、市役所申告会場の指定の日をご利用ください。

受付日	曜日	指定地域	受付会場	受付時間
2月16日	木	南吉原・北吉原・上加賀田	南山内公民館	午前9時30分～午後3時
2月17日	金	大橋・倉作	大橋公民館	
2月20日	月	池野辺	池野辺公民館	
2月21日	火	88区～94区	稲田公民館	
2月22日	水	95区～100区・110区・大郷戸	稲田公民館	
2月23日	木	101区～109区	福原公民館	
2月24日	金	本戸	本戸公民館	

●年金収入のみの方、収入のなかった方、非課税所得のみの方

2月16日（木）から3月15日（水）までの申告期間中は、窓口が大変混み合いますので、下記の日程をご利用ください。

受付日	曜日	指定地域	受付会場	受付時間
2月7日	火	市内全域	市役所1階 税務課	午前9時～午後4時
2月8日	水			

男女共同参画推進フォーラム2005

男女(とも)に輝く未来のために ~取り組もう、共同参画~

地域における男女共同参画意識を広げようと、11月27日、中央公民館大ホールで、笠間市男女共同参画推進フォーラム2005(主催▽笠間市・同フォーラム実行委員会)が開かれ、市民や関係団体など約400人が参加しました。

今回は、市民15人で組織するフォーラム実行委員会(委員長▽小林加奈恵さん)が企画・運営を担当。行政や学校、関係団体と連携し、男女共同参画意識の発信に向けて、大きな盛り上がりを見せました。

会場では、男女共同参画に関する小・中学生の絵画や作文の表彰、優秀作文2作品の発表に引き続き、主婦を題材にした寸劇、まちおこしについての事例紹介などが行われ、日常生活における人権の大切さがアピールされました。

閉会後は、弁天町婦人会の皆さんの協力で、龍ヶ崎市の定番となったコロッセが揚げられ、来場者に配られました。

☆フォーラム協力団体

- ▽笠間市男女共同参画審議会
- ▽かさまエコプラザ連絡会
- ▽ネットワークかさま
- ▽弁天町婦人会
- ▽(社)笠間青年会議所
- ▽笠間市商工会青年部
- ▽稲田石材商工業協同組合青年部

◆男女共同参画に関する絵画と作文の表彰

フォーラム開催を前に、男女共同参画に関する絵画と作文を募集したところ、小・中学生から絵画53点、中学生から作文79点の応募がありました。また、笠間高等学校の生徒から、106点に上る川柳や標語が寄せられました。

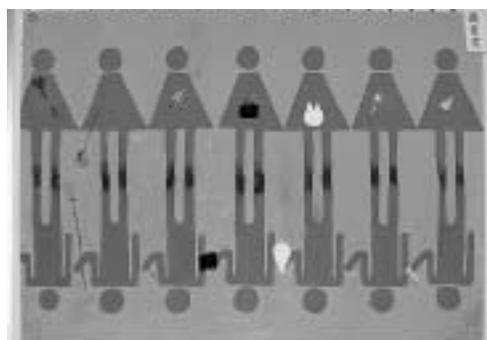
「男女共同参画絵画・作文選考委員会」(委員長▽海老沢彰・笠間小学校校長)の審査の結果、小学生絵画の部で、優秀賞(笠間小6年・成田愛さんの作品『思いやり』)1点と入選3点、中学生絵画の部で、優秀賞(東中1年・割貝ひなたさんの作品『共同参画の歩み』)1点と入選5点を選出。海老沢選考委員長の講評に引き続き、磯市長から賞状と記念品が贈られました。

一方、中学生の作文の部では、力作ぞろいの中、小松崎友理さん(東中1年)の作品『男女共同参画・人として』と、割貝ひなたさん(東中1年)の作品『父は「主婦」?』の2作品を選出。表彰の後、それぞれの作品をステージ上で読み上げました。

小松崎さんは、「それぞれの家庭にあるそれぞれの父親像」を、割貝さんは、「家事に奮闘する父の姿と内面の優しさ」を活字で表現。男女がお互いに気遣い、認め合うことの大切さ、そして、すてきな社会の到来を訴えました。



成田 愛さん(笠間小6年) 「思いやり」



割貝 ひなたさん(東中1年) 「共同参画の歩み」



龍ヶ崎まいんコロッセを揚げる弁天町婦人会の皆さん



作文優秀賞 割貝 ひなたさん(東中1年)



作文優秀賞 小松崎 友理さん(東中1年)

フォーラム終了後、来場者に配られた龍ヶ崎「まいんコロッケ」



危機感が生んだ おかみさんパワー！

『コロッケでまちおこし』

フォーラムの目玉となる講演会には、龍ヶ崎市活性化の立役者・吉田京子さんが登場。

同市商工会女性部長であり、「まいんコロッケ」代表の吉田さんが、まちおこしにかけた情熱を語ってくれました。

—◇—◇—◇—

「コロッケ作ってみたい？」

寂れていく地元の商店街を見てきた吉田さんは、5年前

寸劇「女性も町会議員になっぺよ！」 ～笠間げんこつ劇団～

笠間地域農業改良普及センター管内の女性農業者でつくる「笠間げんこつ劇団」。メンバーは、夜や農閑期に集まり、男女共同参画に関する自己学習に励みながら、活動を続けています。

寸劇では、ごく普通の主婦が町議会議員になろうと一大決意。周囲の重圧に悩みながらも、見事当選するまでの奮闘記を、コミカルに演出しました。



「コロッケでまちを活性化できないか」と思い立ち、商店街のおかみさんたちにそう尋ねました。龍ヶ崎市にちなんだわけではなく、ただ、子どものときに食べた懐かしい味を思い出したからだそうです。

まず400個作って見たものの、なかなか売れない。商工会の男たちは見向きもしない。しかし、持ち前の「元氣とやる気」でコロッケを作り続けるうち、その味が口コミで広がり始め、その意気込みに注目した市がマスコミで紹介。すると新聞やテレビを通して一気に開花し、今や、まち一番の名物として、全国規模の事業が展開されています。

吉田さんは「最初から龍ヶ崎らしさは求めなかった。味を整えてからの出発ではダメ。まずは思ったことを実行すること。『らしさ』は後から付いてくる」と言います。現在では、商工会を中心に、飲食店が競うようにコロッケの新メニューを開発し、まちの経済効果が2割ほどアップしたそうです。今、点のにぎわいから面のにぎわいへ。まちおこし、そして地域コミュニティの活性化が続いています。



まちおこしへの奮闘を語る吉田さん

榎村 ふみ江さん

青少年の健全育成功労で善行表彰

今年で55回目を迎える平成17年度秋季善行表彰式が、このほど、明治神宮（東京都渋谷区）で行われ、榎村 ふみ江さん（笠間・75歳）が、青少年の健全育成に対する永年の功績により、表彰されました。

榎村さんは、昭和42年以来、現在に至る38年の永きにわたり、ガールスカウトの組織拡大と強化に尽力されてきたほか、指導者研修を企画し、その育成に努めてこられました。一方、笠間市子ども会育成連合会の役員として、子ども会活動の振興にも精力的に貢献。特に、子ども会への訪問指導（ラジオ体操、レクリエーション、ゲーム、キャンプ等）を通して、青少年の健全育成に尽力されています。



佐藤 英男さん

住民自治功労で全国自治会連合会表彰

多年にわたる住民自治への功績がたたえられ、このほど、佐藤 英男さん（笠間・75歳）が、全国自治会連合会から表彰されました。

昭和47年に全国自治組織連合会として発足し、昭和60年に再編成した全国自治会連合会は、住民自治組織の発展・向上と豊かな地域社会づくりを目指す全国規模の団体。地域団体において、特に功績の著しい人たちに對する栄典にも積極的に取り組んでいます。佐藤さんは、平成元年から

現在に至るまで、笠間市第27区長として、誠実にその責務に専念され、住民自治組織の振興と発展に努められてきました。この間、平成14年から現在まで、笠間市区長会会長を務められる一方、「かさまをよくする市民会議」副会長として、市民の福祉の向上と、豊かで明るい地域社会づくりの推進に尽力されてきました。同時に、茨城県自治会連合会の理事として、同組織の発展に寄与し、関係事業の達成に大きく貢献されています。



県選挙管理委員会主催の「明るい選挙啓発ポスターコンクール」で、増淵美香さん（稲田中2年・写真左）の作品「投ヒョウして下サイ」（動物のヒョウとサイがモチーフ）が銀賞に、井坂咲さん（稲田中3年）の作品「日本を救うあなたの一票」（日本列島を大胆にデザイン）が銅賞に輝きました。

明るい選挙啓発ポスターコンクール 稲田中の増淵さんと井坂さんが入賞



こじか幼稚園に通う安達 若菜ちゃん（笠間）が、日本商工会議所珠算能力検定3級と日本珠算連盟暗算検定3級に挑み、見事合格しました。3級は、小数点第四位を四捨五入し、第三位まで求める検定。小数点は小学校高学年ではじめて学ぶことから、幼稚園児の合格は驚異的。ご家族もびっくりです。

安達 若菜ちゃん（6歳） 幼稚園児で異例の珠算検定3級

2月

平成 18 年
February
きさらぎ
如月

情報カレンダー



日/曜	行 事	相談	予防接種・健診等	メモ欄
17金 友引	ふれあい広場 10:00～11:30 いなだ保育所 (☎ いなだ保育所 74-2304) 0・1・2・3歳のおはなし会 11:00～11:20 市立図書館 2階ホール (☎ 市立図書館)	教育 児童 健康		
18土 先負	人権教育講演会 13:30～ レゾゴ正児「人がいて、ぬくもりがあって、人がいて」 中央公民館 大ホール (☎ 生涯学習課 内線 272) ビデオ映画上映会 15:00～ 市立図書館 2階ホール (☎ 市立図書館)	相談は、下段一覧を ご参照ください。		
19日 仏滅	4・5・6歳のおはなし会 14:00～14:30 市立図書館 1階 おはなしのへや (☎ 市立図書館)		休日救急医 9:00～17:00 いけうち医院 ☎72-1105	
20月 大安	ふれあい広場 10:00～11:30 いなだ保育所 (☎ いなだ保育所 74-2304)	教育 児童		
21火 赤口	笠間観光いちご狩り (笠間・南指原) ～1月21日(土)開始～ 入園料: 1～2月▷1300円 3月▷1200円 笠間クラインガルテン ☎70-3133 笠間みんげい ☎72-9280	教育 健康 心配 育児		
22水 先勝	子育て広場 9:00～12:00 くるす保育所 遊戯室 (☎ 福祉事務所 内線 144) 紙パック収集	教育 児童 育児	機能アップ教室 9:30～15:30 健康講座「骨粗しょう症について」 14:00～15:30(☎ 保健センター)	
23木 友引	ふれあい (心配ごと相談)巡回相談 10:00～12:00 稲田公民館 (☎ 社会福祉協議会)	教育 育児	6～7か月児健診 受付▷13:20～13:30 対象児▷H17.7.26～8.31生まれ	
24金 先負	ふれあい広場 10:00～11:30 いなだ保育所 (☎ いなだ保育所 74-2304)	教育 児童 健康 歯科	離乳食教室 受付▷9:50～10:00 対象児▷H17.10.16～11.15生まれ	

●見やすい所にはつてお使いください

相談記号 心配: 心配ごと相談(ふれあい相談室)☎0120-66-1134 毎週火曜 13～16時 社会福祉協議会 健康: 健康相談 第1～3・5週火・金曜 9
教育: 教育相談(中学生までの悩みごと・心の相談)☎73-0710 月～金曜 9～16時 笠間保健サービスセンター(学務課☎内線 261) 歯科:
人権法務: 人権法務相談 毎月第3水曜 10～15時 虹の家(総合窓口課☎内線 117) 地域児童: 県地域児童相談 奇数月の第3金曜

問合せ先 ◎市役所 ☎72-1111 ◎保健センター ☎72-7711 ◎総合公園管理棟 ☎72-9330 ◎下水道組合
(市外局番) ◎中央公民館 ☎72-2100 ◎清掃センター ☎74-3800 ◎市民体育館 ☎72-2101 ◎広域斎場
0296 ◎市立図書館 ☎72-5046 ◎たらざき保育所 ☎72-0254 ◎くるす保育所 ☎72-0563 ◎いなだ保育所



資源物（紙類）回収にご協力をいただき、ありがとうございます。
 ☆ 11月の回収量は、63,480kgで、内訳は次のとおりです。
 新聞紙 24,550kg、雑誌類 25,840kg、段ボール 13,090kg
 ☆ごみ減量のため、今後ともよろしく申し上げます。《環境課》

予防接種・健診等の実施場所は、表示がある場合を除き、すべて保健センターです。
 相談は、一覧表をご参照ください。

●見やすい所にはってお使いください

日/曜	行事	相談	予防接種・健診等	メモ欄
9 木 赤口	笠間工芸の丘 「第4回 炉を囲む3人展」 2月1日(水)から26日(日)	教育 育児	お誕生相談 受付▷9:50～10:00 対象児▷H17.1.16～2.28生まれ	
10 金 先勝	ふれあい広場 10:00～11:30 いなだ保育所 (☎ いなだ保育所 74-2304)	教育 児童 健康 歯科		
11 土 友引 建国記念の日	ビデオ映画上映会 15:00～ 市立図書館 2階ホール (☎ 市立図書館)		休日救急医 9:00～17:00 下田整形外科 ☎73-0858	
12 日 先負	4・5・6歳のおはなし会 14:00～14:30 市立図書館 1階 おはなしのへや (☎ 市立図書館)		休日救急医 9:00～17:00 関医院 ☎72-1382	
13 月 仏滅	ふれあい広場 10:00～11:30 いなだ保育所 (☎ いなだ保育所 74-2304)	教育 児童		
14 火 大安		教育 健康 心配 育児		
15 水 赤口	子育て広場 9:00～12:00 くるす保育所 遊戯室 (☎ 福祉事務所 内線 144) ペットボトル収集	教育 児童 人権法務 育児	破傷風接種 受付▷13:00～13:50 ※3日前までに予約してください。 両親学級④ 10:00～12:00 機能アップ教室 9:30～15:30	
16 木 先勝	子育てサロン 9:00～11:30 みなみ公民館 (☎ 更生保護女性会 甲斐 邦子 72-1477)	教育 育児	ひだまり(精神デイサービス) 10:00～15:00	

9 ～12時 第4火・金曜 13～16時 保健センター 児童：家庭児童相談 月・水・金曜 13～17時(福祉事務所☎内線330)
 歯科相談 第2金曜 9～11時 第4金曜 13～16時 保健センター 育児：児童相談 火・水・木曜 9～16時 各保育所
 10～16時 保健センター (福祉事務所☎内線142 要予約)

☎78-0851 ▷社会福祉協議会 ☎73-0084 ▷笠間工芸の丘 ☎70-1313 ▷笠間クラインガルテン ☎70-3011
 ☎72-7011 ▷観光協会 ☎72-9222 ▷茨城県陶芸美術館 ☎70-0011 ▷笠間日動美術館 ☎72-2160
 ☎74-2304 ▷笠間焼協同組合 ☎73-0058 E-mail ▷ info@city.kasama.ibaraki.jp

2月

平成 18 年

February
きさらぎ
如月

情報カレンダー



日/曜	行 事	相談	予防接種・健診等	メモ欄
1 水 仏滅	子育て広場 9:00 ~ 12:00 くるす保育所 遊戯室 (☎ 福祉事務所 内線 144) ペットボトル収集	教育 児童 育児	機能アップ教室 9:30 ~ 15:30	
2 木 大安	笠間工芸の丘 「桃 宴」 ～ 陶の雛展 ～ 1月26日(木)～3月5日(日)	教育 育児	ひだまり(精神デイサービス) 10:00 ~ 15:00	
3 金 赤口	ふれあい広場 10:00 ~ 11:30 いなだ保育所 (☎ いなだ保育所 74-2304) 0・1・2・3歳のおはなし会 11:00 ~ 11:20 市立図書館 2階ホール (☎ 市立図書館)	教育 児童 健康		
4 土 先勝	子ども体験行事「子ども料理教室④」(☎ 中央公民館) ビデオ映画上映会 15:00 ~ 市立図書館 2階ホール (☎ 市立図書館)		両親学級③ 17:00 ~ 19:00	
5 日 友引	青少年健全育成講演会 13:30 ~ デープ大久保「私の野球人生」 中央公民館 大ホール (☎ 生涯学習課 内線 272) 4・5・6歳のおはなし会 14:00 ~ 14:30 市立図書館 1階 おはなしのへや (☎ 市立図書館)		休日救急医 9:00 ~ 17:00 磯医院 ☎74-4790	
6 月 先負	ふれあい広場 10:00 ~ 11:30 いなだ保育所 (☎ いなだ保育所 74-2304)	教育 児童		
7 火 仏滅		教育 健康 心配 育児		
8 水 大安	子育て広場 9:00 ~ 12:00 くるす保育所 遊戯室 (☎ 福祉事務所 内線 144) 白色発泡トレイ収集	教育 児童 育児	BCG接種 受付▷ 13:00 ~ 13:30 ※3日前までに予約してください。 機能アップ教室 13:00 ~ 15:30	

●見やすい所にはつてお使いください

相談記号 心配：心配ごと相談(ふれあい相談室)☎0120-66-1134 毎週火曜 13～16時 社会福祉協議会 健康：健康相談 第1～3・5週火・金曜 9
教育：教育相談(中学生までの悩みごと・心の相談)☎73-0710 月～金曜 9～16時 笠間保健サービスセンター(学務課☎内線 261) 歯科：
人権法務：人権法務相談 毎月第3水曜 10～15時 虹の家(総合窓口課☎内線 117) 地域児童：県地域児童相談 奇数月の第3金曜

問合せ先 ◎市役所 ☎72-1111 ◎保健センター ☎72-7711 ◎総合公園管理棟 ☎72-9330 ◎下水道組合
(市外局番) ◎中央公民館 ☎72-2100 ◎清掃センター ☎74-3800 ◎市民体育館 ☎72-2101 ◎広域斎場
0296 ◎市立図書館 ☎72-5046 ◎たらざき保育所 ☎72-0254 ◎くるす保育所 ☎72-0563 ◎いなだ保育所

税等納期限

2月28日(火) 固定資産税・都市計画税……第4期分
介護保険料……第6期分

予防接種・健診等の実施場所は、表示がある場合を除き、すべて保健センターです。
相談は、一覧表をご参照ください。

18 年 3 月	日	月	火	水	木	金	土	
					1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25		
26	27	28	29	30	31			

●見やすい所にはってお使いください

日/曜	行事	相談	予防接種・健診等	メモ欄
25土 仏滅				
26日 大安	笠間市閉市式典 13:30～ アトラクション 市内中学校4校による合唱 14:45 中央公民館 大ホール (☎秘書企画課 内線 221)		休日救急医 9:00～17:00 笠間耳鼻咽喉科 ☎73-0111	
27月 赤口	茨城県陶芸美術館 「日本陶芸 100年の精華」 1月21日(土)～3月21日(火)	教育 児童	2歳児歯科健診 受付▷13:00～13:10 対象児▷H15.12.3～12.31生まれ	
28火 友引	笠間市・友部町・岩間町合併協議会 第11回合併協議会 16:00～ 中央公民館 2階 会議室 (☎合併協議会事務局 73-0133)	教育 健康 心配 育児		
【3月の予防接種】 〔ポリオ与薬〕 17日(金)				

9 ～12時 第4火・金曜 13～16時 保健センター 児童：家庭児童相談 月・水・金曜 13～17時(福祉事務所☎内線330)
歯科相談 第2金曜 9～11時 第4金曜 13～16時 保健センター 育児：児童相談 火・水・木曜 9～16時 各保育所
10～16時 保健センター (福祉事務所☎内線142 要予約)

☎78-0851 ▷社会福祉協議会 ☎73-0084 ▷笠間工芸の丘 ☎70-1313 ▷笠間クラインガルテン ☎70-3011
☎72-7011 ▷観光協会 ☎72-9222 ▷茨城県陶芸美術館 ☎70-0011 ▷笠間日動美術館 ☎72-2160
☎74-2304 ▷笠間焼協同組合 ☎73-0058 E-mail ▷ info@city.kasama.ibaraki.jp

長谷川 國二さん

青少年相談員功勞で知事褒賞

青少年相談員として、青少年の健全育成と非行防止に永年にわたって尽力されたことがたたえられ、このほど、長谷川 國二さん（笠間・75歳）が、青少年相談員功勞知事褒賞を受賞されました。

長谷川さんは、昭和56年に笠間市青少年相談員の委嘱を受けて以来、現在に至る24年の永きにわたり、青少年の非行防止に取り組んでこられました。この間、青少年の良き理解者・良き相談相手として、青少年の中に飛び込み、積極

的に巡回指導を行ってきたほか、数々のスポーツ行事やレクリエーション活動にも熱心に取り組んでこられました。

一方、平成2年には、茨城県薬物乱用防止指導員の委嘱を受け、薬物の乱用による弊害や乱用の実態等を把握し、地域に根ざした啓発活動を展開してこられました。

また12月1日には、福祉活動の一助にと、青少年相談員並びに薬物乱用防止指導員として、歳末たすけあい共同募金にもご協力いただきました。



飯島 勇さん（笠間中学校長）

教育功勞により教育者表彰

学校教育に関する際立った功績がたたえられ、笠間中学校長の飯島勇さん（下市毛・60歳）が、このほど、教育者表彰を受けました。

教育者表彰は、現に学校教育に従事している教育者のうち、特に功績の著しい方々を、文部科学大臣が表彰するもの。12月12日、茨城県内の3人を含む全国の功勞者159人が、東京国際フォーラム（東京都千代田区）で表彰されました。飯島さんは、昭和43年、総和町（現・古河市）の上辺見

小学校の教員として教職の道を歩み始め、佐城小、笠間中などを経て、岩間中教頭、友部中学校長を歴任。その間、通算9年間に及ぶ県教育庁での職責を全うし、現在に至る38年間の永きにわたり、学校教育・教育行政の充実と振興に大きく貢献されてきました。

飯島さんは、「子どもたちと接することで、自分も磨かれてきた。表彰は、子どもたちや先生など、周りの皆さんの支えがあったからこそ」と、にこやかに話していました。

北関東自動車道「南指原川橋」完成記念 （高速道路でお絵書きタイム）



南指原川橋（本戸）の完成を記念し、11月26日、地元の皆さん約70人を迎えて、現場見学会が開かれました。会場では、未舗装路面に記念の絵を描いてもらおうと、子どもたちにマジックペンが配られ、一風変わったお絵書きタイムがスタート。アニメのキャラクターなど様々な絵が描かれました。

亀渕 友香さんクリスマスコンサート ゴスペルパワーで観客を圧倒



12月10日、中央公民館大ホールで、芸術鑑賞「亀渕 友香& Voices of Japan Xmas コンサート」が開かれ、約500人の観客であふれました。

人気歌手・亀渕 友香さんのゴスペルパワーが観客を圧倒し、豪快なフィナーレでは、会場総立ち。感動と興奮の中、大ホールに一体感が生まれました。

@ 消防署だよ！

ストーブ火災の防止

暖房機として、昔から普及しているストーブ。しかし、不注意や間違いが原因で、毎年多くの火災が発生しています。

ストーブ火災の原因

- ① 乾燥機代わりにしたために！
洗濯物が乾きにくいいため、ストーブの真上や近くで乾かしていたところ、軽くなって落下し、火災になった。
- ② スプレー缶がそばにおいてあったために！
そばにあったスプレー缶が熱で暖められ、ガスが膨張して爆発し、火災になった。
- ③ 燃料タンクのキャップがし



まっぴいなかっただために！
灯油切れの際、点火したままカートリッジを抜き、セツトしようとしたら、キャップから燃料が漏れて火災になった。

燃料を間違えたために！

燃料を給油する際、灯油と間違えてガソリンを給油。点火したら火災になった。

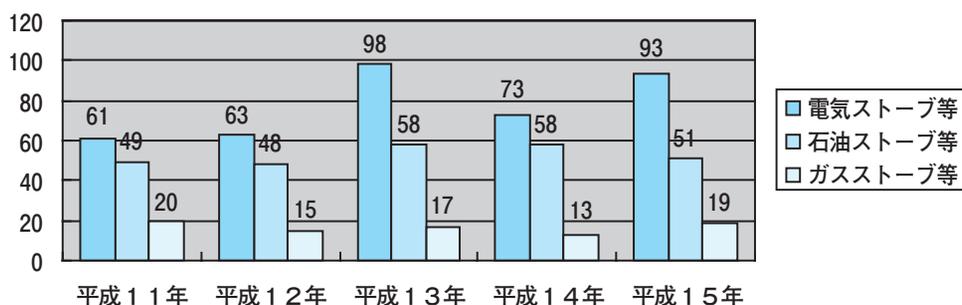
ストーブ火災の防止

- ① 使用前には点検整備を行う。
- ② 洗濯物を乾かすなど、乾燥機代わりにしない。
- ③ 給油するときは、必ず消火してから行う。
- ④ 燃料タンクのキャップは、確実に閉めたことを確認する。
- ⑤ ストーブの近くで、スプレーやシンナー、灯油などの引火性のものを使用したり、そばに置いたりしない。
- ⑥ ガソリンと灯油を間違えない。

ストーブ火災の発生状況

暖房器具による火災の発生状況を見ると、電気ストーブが最も多くなっています。

《主な暖房器具による火災の発生件数》



電気を熱源とする暖房器具は、取扱いや維持管理が容易、ガスや石油などの燃料を使用しないため空気を汚さない、給油の手間が掛からないなどの理由から、手軽な暖房器具として広く使用されています。しかし、使用の際は、周囲や上部の可燃物、機器やコードの損傷等への注意が必要です。

みんなでトライアングル ⑳

「男女共同参画を進めよう」

《お互いに認め合い、尊重していきましょう！》

男女共同参画社会の形成に向けては、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮しようとする意識と行動が、女性にも男性にも求められています。

これまで、性別による固定的役割分担意識からくる慣習やしきたりなどのために、女性の活動範囲が制限されてきました。また、その一方で、そうした慣習やしきたりの中で、女性も、自分の責任や役割を担うことに消極的であった側面もあります。

地域活動など、市民が主体となつて活動する中であつては、女性も男性も、お互いを尊重し、認め合える男女共同参画の推進が大切です。

「男女共同参画推進フォーラム2005」も、市民の皆さんのご協力により開催いたしました。今年度は、各種団体の代表者15人で実行委員会を組織し、若い方や男性の意見も取り入れ、企画並びに運営を行いました。また、多くの市民の皆さんにもご参加い

いただきました。『女性だからといって、できないことはない』、『男性でも女性でも、やる気になれば何でもできるんだ』など、参加された皆さんそれぞれに感じ取っていただけかと思えます。

「自分らしく生きることで、できる男女共同参画づくり」というテーマの下、自分らしく生きるということとは、自分のやりたいように生きることではないと感じました。自分の周りの意見などを聞き入れ、お互いに認め合い、そして尊重し、自分を発揮することが、自分らしく生きることだと思えます。



環境ウォッチング

地元中学生 エコフロンティアで環境を学ぶ

学区内に建設された「エコフロンティアかさま」の概要や役割を学び、環境教育の充実を図ろうと、12月16日、東中学校の全校生徒78人が、同施設を訪れました。

8月1日に開業したこの施設は、循環型社会形成の推進拠点にも位置付けられたごみ処理施設。施設職員の案内で、各設備の役割や概要、安全管理などについて学びました。

まず訪れたのは、管理棟兼環境学習施設。各施設の資料や発泡スチロールをリサイクルして作られたボールペンが



施設の概要について学ぶ東中の生徒

配られ、主要施設の概要が説明された後、ガス化溶融処理施設、最終処分場、浸出水処理施設を見学しました。

専門用語が難しかったのか、ちよつと困惑した面も。しかし、ごみピット内でクレーンが立ち上がると、生徒たちからどよめきが上がりました。

「ごみはゼロにはならないが、家庭でごみを減らしましょう」という職員に対し、生徒たちは、「ふだん見られないものを見せてもらった。私たちもごみを減らすよう努力します」とお礼を述べました。



ガス化溶融処理施設内を見学

まちづくり教室 活動情報 No.52

私たち陶芸家で作るグループの名前は、座・陶の小径せうといっています。少し変わった名前ですが、この「座」には、人の寄り集まる場所という意味があります。

今年で6回目を迎える「桃もも々々陶の雛展ひな」も、こうした人の寄り集まる催しにしたいと願って始められたもの。

「陶の小径」からまちに活気があふれ、訪れる人とのコミュニケーションが深まればと思っています。そのため今回は、「おもてなし」をより充実させ、ワークショップ等を通して、さらに交流を深める企画を考えています。1月から3月の間に開かれる桃宴ももに、遊びに来てください。

3月には、友部・岩間と合併し、新しい笠間市が生まれます。より多くの方々と共に、



まちづくり、そして新しいコミュニケーションをつくっていきけることを期待しています。

寄稿▼まちづくり教室生徒会

健康アドバイス 55 保健センター

《脳梗塞こうそくについて》

*脳梗塞とは？

皆さんもご存知のとおり、脳梗塞は脳卒中の一つで、脳の血管(動脈)が詰まり、脳細胞が死んでしまう病気です。高齢化社会の中で、近年も依然として脳梗塞の患者数が増え続けています。そして、重い後遺症を残す脳梗塞は、寝たきりになる原因の大きな割合を占めています。

*脳梗塞のサインは？

脳梗塞は突然発症することが多く、具体的には次のような症状が現れます。

- ①顔や手足のしびれが右側、あるいは左側だけに起こる。
- ②言葉の障害、あるいは混乱状態。舌がもつれた感じ、言いたいことが言えない、相手の言葉が理解できない、など。
- ③片目、あるいは両目が見えない、見えにくくなる。
- ④めまい、歩行障害。
- ⑤原因不明の激しい頭痛、吐き気。

もし、このような症状が一つでも起こったら、すぐに救急病院又は、脳神経外科や神経内科のある病院にかかりましょう。脳梗塞は、一刻も早く受診し、治療を開始することによって、良い結果が期待できます。

*脳梗塞を予防するには？

脳梗塞の発症自体を予知することはできませんが、危険因子を是正することによって、発症の危険率を低下させることができます。

※危険因子とは：高血圧・糖尿病・高脂血症・喫煙・肥満・多量飲酒など

年に一回必ず健診を受け、自分の持っている危険因子について、正しく理解しておきましょう。そして、治療できる危険因子は、きちんと治療しておくことが重要です。

情報コーナー

人口と世帯	
11月末日現在(前月比)	
人口	29,874人(-15)
男	14,584人(-14)
女	15,290人(-1)
世帯数	10,063戸(+2)

※住民基本台帳による

電気設備安全点検のお知らせ
～関東電気保安協会～

関東電気保安協会では、電気事業法に基づき、1月から11月にかけて、企業や家庭の漏電の調査、屋外配線などの安全点検を実施しています。4月までの実施地域▼1月▽笠間・下市毛、2月▽笠間、3月▽笠間・石井、4月▽笠間・日草場

調査員▼関東電気保安協会の職員が、制服と腕章を着用し、写真入りの調査員証を携帯しています。

※調査の際、費用をいただくことはありません。また、物品販売等はいたしません。

問合せ先▼(財)関東電気保安協会茨城事業本部調査部
☎029(226)3221

●申告書は、自分で書いて郵送などで、お早めに！

確定申告の期限が間近にな

ると、窓口が大変混雑します。申告書は自分で記載し、郵送等で早めに提出してください。

なお、国税庁のホームページで申告書を作成し、印刷して提出することができます。

アドレス▼<http://www.nta.go.jp>

〒310-8666 水戸市北見町1-17水戸税務署

申告会場▼水戸市大町ビル3階(県住宅供給公社内)

受付期間▼所得税▼2月16日～3月15日

贈与税▼2月1日～3月15日

受付時間▼午前9時～午後4時

※受付は平日(月～金曜日)ですが、2月19日・26日の日曜日に限り受け付けます。

問合せ先▼水戸税務署☎029(231)4211

「こころの健康セミナー」と個別相談

茨城労働局と水戸地域産業保健センターでは、労働者のストレスに対するメンタルヘルスと健康的な職場環境づくりのための「こころの健康セミナー」を開催します。また、専門医師らによる「こころの健康」個別相談にも応じます。

日時(会場)▼

☆第1回▼1月26日(土)午後6時30分～8時30分(ひたちなか市・ワークプラザ勝田)

☆第2回▼3月23日(土)午後6

時30分～8時30分(水戸市医師会館)

定員▼30人(定員になり次第締切り)

参加料▼無料

申込み・問合せ先▼茨城労働局安全衛生課☎029(224)6215

●調停相談会

日時▼2月3日(金)午前10時～午後3時

会場▼ワークプラザ勝田(ひたちなか市)

相談内容▼土地建物の権利争い、金銭貸借上の紛争、家庭内・親族間のもめ事など

相談員▼水戸調停協会所属調停委員(弁護士、不動産鑑定士、建築士、司法書士他)

相談料▼無料(予約不要)

問合せ先▼水戸地方・家庭裁判所内水戸調停協会☎029(224)0011

●「リウマチ教室」を開催

リウマチの方やそのご家族、また、リウマチに関心のある方々を対象に、「リウマチ教室」を開催します。

日時▼1月22日(日)午後1時30分～4時

会場▼常陸大宮市文化センター
内容▼リウマチに関する講演

会と医療相談会

入場・相談料▼無料
問合せ先▼(社)日本リウマチ友の会茨城支部事務局
☎0280(22)7173

●女性のための「したたか・しなやか起業塾」

女性の感性を生かした起業を応援するため、企業経営の専門家や起業経験者を講師に迎えたセミナーを開催します。

日時▼2月17日(金)・18日(土)の二日間午前10時～午後4時

会場▼茨城県三の丸庁舎3階

内容▼

17日▼女性起業家の条件と心構え

18日▼起業経験者の体験談ほか

対象者▼起業に関心のある県内在住の女性
定員▼20人(先着順)
参加費▼二日間2000円

申込期限▼2月10日(金)

申込方法▼電話又はファックスで次へ。

申込み・問合せ先▼(社)いばらきニュービジネス協議会

☎029(227)8383
FAX 029(227)8484

●「いのちの電話」相談員養成講座の受講者を募集

「いのちの電話」は、自殺を予防するため、様々な不安を抱える人たちと電話で対話するボランティアです。

受講資格▼年齢23～62歳

※性別、学歴、職業は不問

研修期間▼4月から2年間

研修会場▼つくば市周辺

募集期限▼2月15日(土)
資料請求・問合せ先▼茨城いのちの電話事務局☎029(852)8505

笠間中学校が準優勝

～笠間市長杯中学校サッカー大会～



11月19日と20日の二日間、市総合運動公園芝生スポーツ広場で、27回「笠間市長杯争奪中学校サッカー大会」が開かれ、18校が参加。戦の末、笠間中が準優勝に輝きました。
優勝：古河第二中学校
第3位：岩瀬東中学校
第3位：協和中学校

●中学生「税に関する
標語・作文」の入賞者

関東信越国税局が募集した「中学生の税に関する標語・作文」の中から、市内の入賞者を紹介します。

《敬称略》

標語の部

☆水戸税務署長賞

阿内万里恵（笠間中3年）

塙 真美（東中3年）

中島 萌（南中2年）

☆笠間市長賞

石田 亮（東中2年）

鈴木美紗恵（南中3年）

☆笠間市教育長賞

橋詰 亮太（笠間中1年）

小松崎友理（東中1年）

☆水戸国税モニター会長賞

近藤 憲介（笠間中1年）

学校賞▽東中学校

学校賞▽南中学校

作文の部

☆県納税貯蓄組合連合会長賞

関 朝加（笠間中3年）

☆県租税教育推進協議会長賞

安見 千夏（笠間中3年）

☆水戸地区納税貯蓄組合連
会優秀賞

池田 綾香（笠間中2年）

五味田 亮（東中3年）

富田 真衣（南中3年）

川上 裕貴（稲田中1年）

●茨城県の最低賃金

件名	時間額	効力発生日
茨城県最低賃金	651円	平成17年 10月1日
鉄鋼業	752円	平成17年 12月31日
一般機械器具製造業	742円	
電気機械器具 情報通信機械器具 電子部品・デバイス製造業 精密機械器具製造業	739円	
各種商品小売業	714円	
産業別最低賃金		

●平成18年度茨城大学特殊教育
特別専攻科の学生を募集

専攻科（定員）／

☆養護学校教諭一種免許状取
得コース（25人）

☆養護学校教諭専修免許状取
得コース（5人）

修業年限▼1年

出願資格▼大学を卒業又は卒
業見込みの方、若しくは文
部科学大臣が指定した方等

出願期間▼1月16日（月）～25日

問合せ先▼茨城労働局労働基
準部賃金室 ☎029（22
4）6216

④（期間内必着）
資料請求・問合せ先▼茨城大
学教育学部入学試験係 ☎0
29（228）8208

●県立水戸南高校
通信制課程の生徒を募集

通信制は、働きながら学ぶ
ことのできる高校です。また、
成人の方にも高等教育の場を
提供しています。

願書受付期間▼3月15日（水）～
28日（火）（編入・転入学は2
月17日（金）～24日（金））

応募資格▼県内に居住又は勤
務し、一般入学は、中学校
若しくはこれに準ずる学校
を卒業又は卒業見込みの方。

資料請求・問合せ先▼茨城県
立水戸南高等学校 ☎029
（247）6173

<http://www.mioninami-h.ed.jp/>

●水戸建築高等職業訓練校の
生徒を募集

対象者▼中学校・高校・専門
学校（卒業見込みを含む）
を卒業し、水戸周辺の事業
所に建築大工職として就職
（見込みを含む）した方

訓練日▼毎週火・金曜日の午
後6時30分～9時30分

授業料▼年間6万円

募集期限▼4月20日（水）

申込方法▼当校の入校申込書
に記入の上、事業主を經由
して申し込んでください。

申込み・問合せ先▼水戸建築
高等職業訓練校 ☎029（2
26）0405

学生の種類▼教養学部・大学院

4月入学生を募集

資料請求・問合せ先▼放送大
学茨城学習センター（茨城
大学水戸キャンパス内）
☎029（228）0683
<http://www.u-air.ac.jp>

募集期限▼2月28日（水）

資料請求・問合せ先▼放送大
学茨城学習センター（茨城
大学水戸キャンパス内）
☎029（228）0683
<http://www.u-air.ac.jp>

となりまち・みどころ発見
水戸地方広域市町村圏協議会

ふれあいの里・うぐいすの里
《城里町》

野外活動センター「ふれあ
いの里」と「うぐいすの里」は、
キャンプ場をはじめキャンピ
ンやバンガローなどの宿泊施設
が充実しています。

予約受付▼2月1日（水）から
問合せ先▼「ふれあいの里」
管理事務所 ☎029（28
8）5505 「うぐい
すの里」管理事務所 ☎029
（289）4321

第18回

笠間市長杯バスケットボール大会結果
（12月10・11・27日）

☆中学校男子 準優勝：笠間中



☆小学校男子 準優勝：笠間ミニバスケットSS



☆小学校女子 第3位：笠間ミニバスケットSS



生涯学習だより 《33》

— Life Long Learning —

親子の〈きずな〉を深めましょう

ハイキングで紅葉狩り

青少年育成笠間市民会議では、親子で語り合い、自然に触れ合うことで、青少年の豊かな人間性とたくましさを育むことを目的に、昨年11月6日（日）に『親子ふれあいハイキング』を実施しました。場所は北茨城市の花園溪谷です。

参加された皆さんは、山の紅葉と、川のせせらぎを楽しみながら、親子で仲良く元気に歩き、自然を満喫していました。



【てっぺんまで登ったよ!】



姉妹都市 スポーツで交流を! 矢板市のマラソン大会に参加!!

昨年11月13日（日）、市内の小・中学生や一般の皆さんが、栃木県矢板市の『矢板たかはらマラソン大会』に参加しました。

矢板市は、初代笠間城主である笠間 時朝の出身地ということで、昭和55年に笠間市と姉妹都市となり、毎年、お互いのマラソン大会を通じて、スポーツによる交流を深めています。

当日は、快晴の秋空の下、参加した皆さん（32人）が、気持ちのよい汗を流していました。

記録に満足できた人・ちょっぴり悔しい思いをした人・お友達を増やすことができた人、それぞれの記憶に残る一日を過ごすことができました。



【入賞：萩原信子さん、萩原憲子さん、菊池綾香さん、福見千晴さん】

平成17年度児童・生徒芸術鑑賞事業 ～心に響く和の音色～

昨年11月29日（火）・12月6日（火）・7日（水）の三日間にわたり、笠間市中央公民館において、市内の小・中学生を対象とした児童・生徒芸術鑑賞事業を開催しました。

今年度は、和楽会「昇（しょう）」の皆さんによる青森県津軽地方の民謡音楽“津軽三味線”と現代創作和太鼓のジョイントコンサート。

小学校低学年の部には、和楽会の皆さんが動物の姿で登場し、子どもたちは大喜び。また、大きな和太鼓の迫力に聞き入っている様子でした。そのほか、太鼓の体験コーナーもあり、各学校から選ばれた子どもたちが、ステージ上で和太鼓の演奏指導を受け、日本の伝統文化に触れることができました。



ワイワイ! 楽しい!! ♪クリスマス会を実施♪

昨年12月10日（土）と11日（日）に、『どんぐり学校～クリスマス会～』を行いました。

1日目は、茨城県レクリエーション協会の武藤先生の指導により、稲田小学校体育館でレクリエーション、夜は吾国山洗心館で歌やゲームなどを行い、楽しいクリスマス会を開くことができました。

翌日には、市民講師の安藤先生の指導の下、自然の素材を利用したリース作りを行いました。どの作品も個性豊かで、素敵なリースを作り上げることができました。

参加した子どもたちはもちろん、お手伝いの笠間市リーダースクラブのメンバーにも、思い出に残るクリスマス会でした。



サンタさんもやって来たよ!!



健康づくり講演会 『健康寿命を延ばすコツって?』



講演に先立って行われたストレッチ体操(ステージ右が田中さん)

11月26日、中央公民館大ホールで、健康づくり講演会(主催▽かさまをよくする市民会議健康づくり運動実行委員会)が開かれ、市民や関係者など約400人が来場しました。
講師は、筑波大学教授で、スポーツ医学に詳しい田中喜代次さん。「健康寿命をのばすための上手な生き方」と題し、映像を使って、上手な生き方(老い方)を語りました。
健康寿命とは、元気に活動できる期間のこと。現在、健康寿命を延ばすことが課題となっており、生活習慣病の予防がその大きなかぎを握っています。田中さんは、心の平安、適切な食習慣、運動の習慣化を挙げ、長寿の秘訣について教えてくれました。

300年前にタイムスリップ 「佐白山の歴史探訪」



佐白山中腹の「千人溜」で説明を受ける参加者の皆さん

12月18日、笠間の歴史を学ぶ「佐白山とその周辺の歴史探訪」(主催▽かさまをよくする市民会議生涯学習運動実行委員会)が開かれました。
この催しは、佐白山の史跡を散策しながら、郷土の伝統や文化を味わってもらおうと行われたもので、市民約50人が参加しました。
講師は、笠間市文化財保護審議委員の小室昭さん。笠間藩の下屋敷が構えられていたという山麓公園を出発すると、参加者たちは、たちまち300年前にタイムスリップ。武家社会の様子を伝える史跡の説明を聞きながら、山城の持つ機能や歴史の変遷をたどり、山頂の佐志能神社を目指しました。

季節を彩るイルミネーションで、地域に活気



笠間駅前(稲青倶楽部・稲荷町子ども会)



石井交差点(石井元気まつり実行委員会)

*** 笠間市民憲章 *** この誇りある郷土を愛し、よりよい明日を求めて。
◇自然を愛し、美しいまちにしよう。 ◇健康で働き、豊かなまちにしよう。 ◇教養と文化を高め、明るいまちにしよう。
◇思いやりを深め、温かいまちにしよう。 ◇きまりを守り、住みよいまちにしよう。(昭和53年8月1日制定)

